PATENT COOPERATION TREATY

PCT

INTERNATIONAL PRELIMINARY REPORT ON PATENTABILITY

(Chapter I of the Patent Cooperation Treaty)

(PCT Rule 44bis)

Applicant's or agent's file reference 2005308C5093	FOR FURTHER ACTION	See item 4 below	·			
International application No. PCT/JP2005/009002	International filing date (day/month/year) 11 May 2005 (11.05.2005)	Priority date (day/month/year) 12 May 2004 (12.05.2004)				
International Patent Classification (8th edition unless older edition indicated) See relevant information in Form PCT/ISA/237						
Applicant TOYOTA JIDOSHA KABUSHIKI KAISHA						

			· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·				
1.	This international preliminary report on patentability (Chapter I) is issued by the International Bureau on behalf of the International Searching Authority under Rule 44 bis. 1(a).						
2.	This REPORT consists of a total of 4 sheets, including this cover sheet.						
	In the attached sheets, any reference to the written opinion of the International Searching Authority should be read as a reference to the international preliminary report on patentability (Chapter I) instead.						
3.	This report contains indications relating to the following items:						
	Box No. I	Basis of the report					
	Box No. II	Priority					
	Box No. III	No. III Non-establishment of opinion with regard to novelty, inventive step and industrial applicability					
	Box No. IV	Lack of unity of invention					
	Box No. V	Reasoned statement under Article 35(2) with regard to novelty, inventive step or industrial applicability; citations and explanations supporting such statement					
	Box No. VI	Certain documents cited					
	Box No. VII	Certain defects in the inter-	national application				
	Box No. VIII	Certain observations on the	e international application				
4.	4. The International Bureau will communicate this report to designated Offices in accordance with Rules 44bis.3(c) and 93bis.1 but not, except where the applicant makes an express request under Article 23(2), before the expiration of 30 months from the priority date (Rule 44bis.2).						
			Date of issuance of this report 14 November 2006 (14.11.2006)				
The International Bureau of WIPO 34, chemin des Colombettes 1211 Geneva 20, Switzerland			Authorized officer Yoshiko Kuwahara				
Facsimile No. +41 22 338 82 70			e-mail: pt07@wipo.int				

Form PCT/IB/373 (January 2004)

特許協力条約

発信人 日本国特許庁 (国際調査機関)

代理人

川口 嘉之

REC'D 0 1 SEP 2005

WIPO

PCT

あて名

〒103-0004

日本国東京都中央区東日本橋3丁目4番10号 ア クロポリス21ビル6階

PCT 国際調査機関の見解答 (法施行規則第40条の2) [PCT規則43の2.1]

発送日

(日.月.年)

出願人又は代理人

の啓類記号

2005308C5093

今後の手続きについては、下記2を参照すること。

国際出願番号

国際出願日

PCT/JP2005/009002 (日.月.年) 11.05.2005

優先日

12.05.2004 (日.月.年)

国際特許分類 (IPC) Int.Cl.7F02D41/22, F02D41/14, F02D43/00, F02D45/ 00, F02D21/08, F02M25/07, F01N3/36

出願人(氏名又は名称)

トヨタ自動車株式会社

1. この見解掛は次の内容を含む。

▽ 第1 棚 見解の基礎

第Ⅱ欄 優先権

第Ⅲ欄 新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての見解の不作成

第Ⅳ欄 発明の単一性の欠如

第V欄 PCT規則 43 の 2.1(a)(i)に規定する新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての見解、

それを裏付けるための文献及び説明

第VI欄 ある種の引用文献

第VI欄 国際出願の不備

第四個 国際出願に対する意見

2. 今後の手続き

国際予備審査の請求がされた場合は、出願人がこの国際調査機関とは異なる国際予備審査機関を選択し、かつ、その国 際予備審査機関がPCT規 66.1 の 2(b)の規定に基づいて国際調査機関の見解審を国際予備審査機関の見解審とみなさ ない旨を国際事務局に通知していた場合を除いて、この見解書は国際予備審査機関の最初の見解書とみなされる。

この見解費が上記のように国際予備審査機関の見解費とみなされる場合、様式PCT/ISA/220を送付した日か ら3月又は優先日から22月のうちいずれか遅く満了する期限が経過するまでに、出願人は国際予備審査機関に、適当 な場合は補正費とともに、答弁費を提出することができる。

さらなる選択肢は、様式PCT/ISA/220を参照すること。

3. さらなる詳細は、様式PCT/ISA/220の備考を参照すること。

見解鸖を作成した日

09.08.2005

名称及びあて先

日本国特許庁 (ISA/JP) 郵便番号100-8915

東京都千代田区段が関三丁目4番3号

特許庁審査官(権限のある職員)

岩瀬 昌治

電話番号 03-3581-1101 内線 3355

様式PCT/ISA/237 (表紙) (2004年1月)

9246 3 Z

□ 1 <i>V</i>	4 1 19 14 14 14 15 14 15 14	
第 I 欄 見解の基礎		
1. この見解書は、下	記に示す	場合を除くほか、国際出願の官語を基礎として作成された。
この見解書は、それは国際調査	<u></u> 全のため	語による翻訳文を基礎として作成した。 に提出された P C T 規則12.3及び23.1(b)にいう翻訳文の言語である。
2. この国際出願で開 以下に基づき見解	示されか 杏を作成	>つ請求の範囲に係る発明に不可欠なヌクレオチド又はアミノ酸配列に関して、 とした。
a. ダイプ	Г	配列表
		配列表に関連するテーブル
b. フォーマット	Γ	審面
	Γ.	コンピュータ読み取り可能な形式
c. 提出時期	Γ	出願時の国際出願に含まれる
		この国際出願と共にコンピュータ読み取り可能な形式により提出された
		出願後に、調査のために、この国際調査機関に提出された
3. 「 さらに、配列 た配列が出廊 あった。	表又は質 (時に提り	記列表に関連するテーブルを提出した場合に、出願後に提出した配列若しくは追加して提出し 出した配列と同一である旨、又は、出願時の開示を超える事項を含まない旨の陳述書の提出が
4. 補足意見:		
·		
		•

国際調査機関の見解書

国際出願番号 PCT/JP2005/009002

第V棡 新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についてのPCT規則 43 の 2.1(a)(i)に定める見解、 それを裏付る文献及び説明							
1	· 見解		•				
	新規性(N)	請求の範囲 請求の範囲	1-5	有 無			
•	進歩性 (I S)	請求の範囲 請求の範囲	1-5	有 無			
	産業上の利用可能性(IA)	請求の範囲 請求の範囲	1-5	有 無			

2. 文献及び説明

文献1:JP 10-159640 A (株式会社ユニシアジェックス)

1998.06.16,全文,全図

文献2:JP 4-8845 A (株式会社日立製作所)

1992.01.13,全文,全図

文献3:JP 2002-21622 A (トヨタ自動車株式会社)

2002.01.23,全文,全図

文献4:JP 59-158342 A (三菱自動車工業株式会社)

1984.09.04,全文,全図

請求の範囲1-5に係る発明は、国際調査報告に引用されたいずれの文献にも記載 されておらず、当業者にとって自明なものでもない。